

教科 図画工作科	学年 第3学年
----------	---------

江戸川区立篠崎小学校

題材名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準
絵の具と水のハーモニー	2	知 筆の使い方や水の量を工夫する。	筆の動かし方や水の量を変えるなどすることを通して、あらわれる形や色などの感じがわかっている。
		思 絵の具遊びから、描きたいことを考えている。	水彩絵の具を使ってできる形や色の感じ、筆の動かし方でできる跡の違いなど、いろいろな表し方を工夫している。
		学 絵の具で描くことをたのしむ。	水彩絵の具でいろいろな描き方を試し、描く心地よさを味わい、表すことをたのしもうとしている。
ふわふわ空気つんでつなげて	2	知 袋の積み方やつなぎ方を工夫する。	膨らませたビニル袋をたくさんついたり触れたりしながら、形や色、ビニル袋の感触や活動する場所の感じがわかっている。
		思 袋を積んだりつないだりして、つくりたいものを考えている。	膨らませたビニル袋の積み方やつなぎ方など、体全体を働かせ、活動を工夫してつくっている。
		学 空気の積み木のふわふわした心地よさをたのしむ。	膨らませたビニル袋の形や色、感触、活動する場所の感じをもとに、自分のイメージを広げながら、造形的な活動を思いついたり、新しく変化させたりしてどのように活動するかについて考えている。
みんなでつくろうねん土ランド	2	知 粘土でできることを生かして表し方を工夫している。	粘土に触れたり動かしたりすることを通して、粘土でできる形などの感じがわかっている。
		思 つくりながら、どんなねん土ランドができるか考えている。	握る、ひねる、積み上げる、つなげるなど、手のさまざまな部分を使い、粘土でできそうなこと、やってみたいことなどを工夫している。
		学 友達と協力して、つくることをたのしむ。	粘土の感触や働きかけてできた形などからイメージを広げ、どのような「ねん土ランド」ができそうか思いついたり、表し方などを考えたりしている。
かげのへんしん	2	知 材料の形や組み合わせから影の表し方を工夫する。	影との関わりを通して、影の形や変化した感じがわかっている。
		思 影の形から、表したいことを考える。	見つけた影をもとに、影をつけたしたり組み合わせたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。
		学 友達と協力して、影を変身させることをたのしむ。	影との関わりを通して、影の形や変化した感じなどをもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するか考えている。
ふしぎな乗りもの	4	知 形や色などの描き方を工夫する。	どのようなものが乗り物になったらたのしいかを考えながら、身近なものの形や色の感じがわかっている。
		思 不思議な乗り物やお話を考えている。	不思議な乗り物の形や色を、自分の思いに合わせて、描き方を工夫している。
		学 不思議な乗り物を描くことをたのしむ。	自分のイメージをもちながら、想像したことから思いついた不思議な乗り物やお話を考えたりしている。
にじんで広がるものがたり	4	知 にじみでできる形や色の組み合わせを工夫している。	想像をふくらませながら、不思議な乗り物を描くことをたのしもうとしている。
		思 にじみでできた形や色からお話を考えている。	クレヨンやパスで描いた形の中に絵の具をたらしてにじみをつくりながら、形や色などの感じがわかっている。
		学 にじみで表すことをたのしむ。	にじみでできる形や色の水たまりをつくり、形や色の組み合わせを工夫して自分の色の世界を表している。
カラフルねんどマイグッズ	4	知 たのしく使えるように、形や色の組み合わせ方を工夫している。	にじみでできた形や色の感じから、自分の色の世界のイメージをもち、表したいことやお話を思いつき、表し方を考えている。
		思 カラフル粘土で、使ってたのしいものを考えている。	にじみを生かして自分の色の世界を表すことをたのしもうとしている。
		学 カラフル粘土でつくることがたのしむ。	カラフルねん土をつくりながら、形や色の感じがわかっている。
			粘土を使った経験などを生かしながら、思いついた使ってたのしいものを、形や色を工夫して表している。
			カラフルねん土でできる形や色の感じや自分のイメージから、使ってたのしいものを思いつき、どのように表すか考えている。
			カラフルねん土でつくることがたのしもうとしている。

題材名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準
光サンドイッチ	4	知 光と影の形や色の組み合わせを工夫している。	光を通す材料を扱ったり触れたりしながら、光があたるときの材料の形や色などの感じがわかっている。 光や影を意識して、材料の形や色を試したり、つくり方を考えたり組み合わせたりして工夫している。
		思 光を通した材料からつくりたい飾りを考えている。	光を通した材料の形や色の感じや組み合わせから感じたことをもとに、表したい光の飾りを思いつき、どのように表すかについて考えている。
		学 光を通した美しさをたのしむ。	光を通したときの材料や飾りの美しさをたのしもうとしている。
ようこそ！アミアミワールド	2	知 網の使い方を工夫している。	網に触れたり、場所に関わったりしながら、材料やまわりの環境の形や色の感じがわかっている。 網を広げたり、ねじったり、くるんだり、結んだりして手や体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。
		思 網をいろいろな場所に引っかけて、たのしい活動を考えている。	大きな網をいろいろな場所にかけることからイメージを広げ、場所なども生かしながら、活動を思いついたり、変化させたりしながら、どのように活動するかについて考えている。
		学 網を使って、友達と協力して活動している。	場所を見つけ、網を使った活動を友達と協力しながら、たのしもうとしている。
うつしてふえるよ でこぼこさん	4	知 版のつくり方や写し方を工夫している。	凹凸のあるさまざまな材料を集めたり、紙に写したりすることを通して、あらわれる形や色の感じがわかっている。 いろいろな材料を組み合わせて版をつくったり、刷り色の組み合わせや写し方の工夫をしている。
		思 「でこぼこさん」とそのお話を考えよう。	版をつくったり写したりしてイメージを広げ、「でこぼこさん」とそのお話を考えている。
		学 版をつくったり、写したりすることをたのしもう。	でこぼこを組み合わせて版をつくったり、写したりすることをたのしもうとしている。
このカタチ へんしんすると	2	知 表と裏で絵が変身するように形を工夫する。	表と裏で絵が変身するクイズを通して、同じ形でも見る人によって違って見えるおもしろさに気づき、形や色の感じがわかっている。 表したいクイズの絵に合わせて、描き方を工夫して表している。
		思 見方によって違うものに見えるものを考える。	見方を変えることから描きたい絵の裏の絵を思いつき、どのように表すか考えている。 クイズを通して、友達の作品の表し方について感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
		学 友達の作品のよさに気づき、つくった作品で互いにクイズをたのしむ。	形や色、手触りなど自分の気に入った感じの自然の材料を集めたり、箱に並べたりすることをたのしもうとしている。
トントンき打ち、コンコンピー玉	4	知 釘の打ち方や材料のつけ方を工夫している。	金づちを使って釘を打ったり、材料を付けたりしながら、形や色の感じがわかっている。 釘や金づちの扱いに慣れ親しみながら、材料の付け方を工夫してコースをつくっている。
		思 ピー玉が転がるたのしいコースを考えている。	釘打ちでできる、ピー玉が転がるコースを考えながら、つくりたいものの発想を広げ、釘の位置を試したり、ピー玉の動きを確かめたりしながら、たのしい仕組みを考えている。
		学 みんなで釘を打ち、つくったコースで遊んでいる。	友達と協力して、釘を打つ感触をたのしみながら、ピー玉がいろいろな動きをする形や仕組みに関心をもって、つくったコースで遊ぶことをたのしもうとしている。
ためしてそんでマグネット	4	知 動きの感じに合わせて、形や色を工夫する。	磁石の働きをもとに箱や色紙など身辺材料を組み合わせながら、形や色などの組み合わせの感じや動きの特徴がわかっている。 箱や色紙などの材料や用具を適切に扱うとともに、手や体全体を十分に働かせ、自分の表したいおもちゃに合わせて表し方を工夫して表している。
		思 動きを試しながらつくりたいものを見つける。	箱や色紙、身辺材料などの組み合わせ方や磁石の特徴から感じたこと、想像したことから表したいことを見つけ、動きや形や色などを生かしながらどのように表すか考えている。
		学 磁石の力を感じて、たのしみながらつくる。	つくりだす喜びを味わい、磁石の働きを生かしたおもちゃをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。
さわってわくわく	2	知 粘土の削り方やつけ方を工夫する。	粘土の削ったりつけたりする行為を通して、粘土でできる形の感じがわかっている。 手や指、道具を使い、粘土の表し方を工夫して表している。
		思 粘土を削ったりつけたりして、どんな形ができるか考える。	削ったりつけたりしながら、どんな形にしたいか、どのように表すか考えている。 いっしょにつくっている友達の作品や、他のグループの作品からよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
		学 粘土を削って、友達とつくることをたのしむ。	つくりだす喜びを味わい、削ったりつけたりして立体に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。

題材名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準
生まれかわったなかまたち	4	知 材料の形や色の組み合わせを工夫している。	材料に触れたり、変形させたり、組み合わせたりしながら、形や色などの感じがわかっている。
		思 材料からつくりたいなかまを考えている。	材料の変化を試しながら、表したいことに合わせて、形や色の組み合わせ方などの工夫をしている。
		学 材料を変身させることをたのしむ。	靴下や手袋に新聞紙などを詰めたり、ひもなどで結んだりした形や色などの感じをもとに、イメージを広げてつくりたいものを想像し、材料を生かして表したいなかまを考えている。
のこぎりザクザク つないでひろげて	4	知 のこぎりの使い方や木切れの組み合わせ方を工夫している。	のこぎりで角材を切りながら、いろいろな角材の形の感じがわかっている。
		思 木切れから、つくりたいものを考えている。	のこぎりの扱いに慣れ親しみながら、どのようにのこぎりを使うとよいか考え、切り方や木切れの組み合わせ方を工夫している。
		学 のこぎりで木を切ることをたのしむ。	切ってきた形の感じから想像を広げ、つくりたいものを思いつき、どのように組み合わせで表していくかについて考えている。
すてきな色で すてきな花を	2	知 色の組み合わせ方や筆の使い方を工夫する。	好きな色の絵の具を選び、身のまわりにある花を絵に表すことを通して、表れる形や色などの感じがわかっている。
		思 見つけた花の形や色をもとに、表したい感じを考える。	表したい感じに合わせて、絵の具の色の組み合わせや、筆の動かし方を工夫して表している。
		学 好きな色の絵の具をたっぶりつけて描くことをたのしむ。	花の形や色、匂いなど、感じたことをもとに、自分の表したい花の形や色を見つけ、どのように表すか考えている。 絵の具の色の組み合わせ方や筆の動かし方の工夫によって表れる形や色などのよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
えっへん！わたしが主人公です	2	知 作品に描かれた生き物を見て、形や線、色の特徴に気づく。	描く心地よさを味わい、好きな色で花を絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。
		思 作品に描かれた生き物から想像を広げてお話を考える。	ジョアン・ミロの「耕作地」に描かれた架空の生き物を主人公にして絵を描きながら、形や線、色などの感じがわかっている。
		学 作品に描かれた生き物から想像を広げることをたのしむ。	気に入った架空の生き物の表し方を工夫して表している。 気に入った架空の生き物の形や線、色などの感じをもとに、自分なりのイメージをもってお話を考えたり、絵を描いたりしている。 気づいたことや想像したことについて、友達と話し合い、自分の見方や考え方を広げている。
みんなでオン・ステージ	4	知 楽器の形や色、つくり方を工夫している。	想像をしたことを描いたり、友達と互いの考えを話し合ったりする学習活動に進んで取り組もうとしている。
		思 どんな弦楽器にするか、考えている。	空き箱と輪ゴムを組み合わせながら、形や色などの感じや音の出る仕組みの特徴がわかっている。
		学 友達と一緒についたり、演奏したりすることをたのしむ。	箱や角材などいろいろな材料や用具を使い、自分の表したい弦楽器に合わせて形や色、つくり方を工夫している。 輪ゴムのかけ方やネックの取り付け方、空き箱や容器の特徴から発想して、つくりたい弦楽器のイメージを広げ、どのように表していくかを考えている。